

# 国語科 中学校 3年

## 単元名「相手を意識して伝えよう」

### 本時の流れ（第4時）

#### 本時の目標

- 相手に応じて効果的に説明するための工夫をする。

- ・本時までの学習を振り返る。

- ・本時の目標を確認する。
- ・学習のゴールを確認する。

- ・目標を達成するための視点を確認する。
  - 教科書の音読
  - ポイントの板書

- ・小グループ（2人）で、調べた情報を活用して、説明する方法を考える。

生徒の話合いの様子はこちら

CLICK

- ・机間指導を行い、学習を支援する。
- ・優れた工夫があったり、学習の視点に課題があったりしたときは、作業を一時中断させて、全体に紹介や確認を行う。

#### （確認）相手を意識する

- ・どうしたら目を向け耳を傾けてくれるだろうか。
- ・相手はどんな言葉を理解していて、どんな言葉で話したら分かってくれるだろうか。
- ・どんな工夫をすると、より理解を深めてくれるだろうか。

#### 学習のまとめ

- ・本時の学習の振り返りをする。
- ・これからの学習に見通しをもつ。

#### 【本時の具体的目標】

グループで決めたテーマについて、小学校4年生に分かりやすく説明するために情報を分かりやすく再構成する。

#### 【分かりやすく話すために】

- ①相手や状況を考え、情報を取捨選択
- ②相手や状況を考え、言葉を選択
- ③相手や状況を考え、話の順序を構成
- ④相手や状況を考え、話し方を工夫
- ⑤伝えたいことを考え、話し方を工夫
- ⑥伝えたいことを考え、図などの提示を工夫

#### 【テーマ例】

- ・蓄音機
- ・優先座席マーク
- ・綿菓子
- ・EUEコラベル
- ・はにわ
- ・ラジオ

#### 【説明の工夫例】

- ・優先座席の実態を実感してもらうために寸劇を取り入れる。
- ・大仏の重さなどを問うクイズを出題する。
- ・石けんやはにわ（模型）などの実物を見せる
- ・聞く人の興味を引くために説明の順番を工夫する。
- ・フリップを用意して内容を分かりやすくする。

生徒が作ったシナリオはこちら

CLICK

#### 【学習のまとめ】

- ・相手を意識した説明の工夫について
- ・相手を意識した話し方について

授業展開例へ

単元の流れへ

HOME